

## 表彰等受賞団体推薦書

推薦者 磯上 慶子

表彰等の名称	第8回みどりのまちづくり賞（愛称：大阪ランドスケープ賞 2018） ランドスケープマネジメント部門（まちが笑顔になるみどりづくり） 「公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会長賞」	
表彰等の概要	<div style="display: flex; align-items: flex-start;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>○講 評</p> <p>人口 減少 社会</p> </div> </div> <p>への転換とともに都市が縮退の局面を迎えています。その際、外縁部から徐々に都市域が縮小せず、市街地内部に穴あき状に空き地等が多く発生する「都市のスポンジ化現象」が指摘され、その対応が求められています。しかし開発等による収益が見込めない土地での空き地活用の方法や管理の仕組みが確立されておらず、そのスキームの構築は社会的な課題となっています。本事例は、農園運営のためのチームでの役割分担や課題解決に向けた会議の実施など文字通り「みんな」で緑地空間を育てる仕組みを有し、また隣接スペースでの収穫物を活用したイベントの開催など地域に広がるコミュニティの核ともなっています。こうした空き地活用の新たな形の提示、都市における農を介したコミュニティ創造の場の提供といった点で、本賞の趣旨である「都市における緑と人間との新たな共生の形」を示す高く評価できる事例だと感じました。さらに農園では水稲栽培に挑戦する利用者もいるなど各区分に個人の楽しみが感じられ、またデザイン性の高い倉庫や看板なども相まって、多くの人に魅力的に映る、他地域でも真似をしたいと思わせる発信機能の高さも評価できるポイントだと感じました。</p> <p>（審査委員 大阪大学大学院工学研究科環境・エネルギー工学専攻 助教 松本邦彦）</p>	
受賞団体	【受賞団体名】	【受賞年月】
	北加賀屋みんなのうえん	2018年10月31日